



明治27年(1894)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
3	22 根室沖を震源とする大地震が起こり、釧路川沿岸に巾30数 ^丈 、長さ20 ^餘 の亀裂が随所に生じる。(釧路で圧死者1人)	1 総選挙、自由119・改進黨48・国協26 29 朝鮮で東学党蜂起
8		1 清国に宣戦布告(日清戦争開始)
9		1 総選挙、自由105・改進黨45・革新40
12		12 『北海民燈』、『小樽新聞』と改題
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> 前田汽船会社が開業し、函館—釧路—霧多布間定期航路を開設する。函館の能登善吉も汽船運航を始め、日本郵船と金森商船も交えて4社の競争となる。 神八三郎が別保原野で、柿田元造が鳥取村で、各々でんぷん製造を始める。  <p>【神牧場】 神八三郎は、でんぷん製造をM34年に中止して牧場経営に専念し、馬産王国釧路の礎を築いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 西幣舞に真宗大谷派説教所(後の鮮明寺)ができる。 仙鳳趾で渡辺寅次郎が炭山を開坑する。 釧路青年同盟会機関誌『釧路の燈台』が発行される。 		<ul style="list-style-type: none"> 日清戦争の汽船徴用で海上運輸途絶、道内物価騰貴・経済不況 鉄道会議で北海道の鉄道敷設方針決定

明治28年(1895)


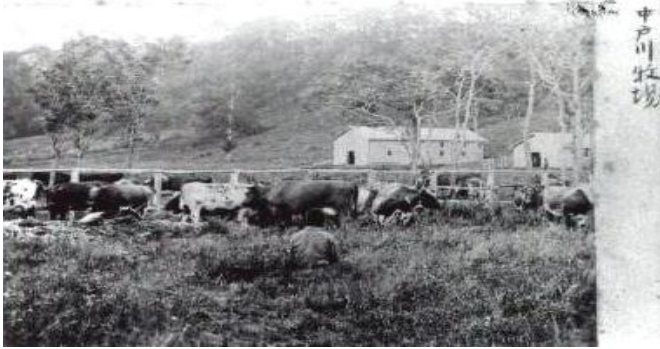
月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	20 鳥取村11番組の坂本友規が、前年の原らに続き、ユツパナイ(後の桜田)に入植する。	
4		17 日清講和条約調印 23 独・仏・露、遼東半島変換勸告(三国干渉)
9		29 函館商業会議所設立認可
10		3 根室大火、889戸焼失
11	桐野弘が釧路郡長に就任する。	
12		2 小樽商業会議所設立認可
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> 酒井純明の「春鳥農園」で小作経営が始まる。 釧路英和女学校が釧路女学校と改称する。 		<ul style="list-style-type: none"> コレラ大流行、国内死者40,150人

明治29年(1896)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	16 釧路電信分局が人員9名・モールス機4台・二重機1とされる。	1 石狩・渡島・後志・胆振の4国に徴兵令施行
3		31 拓殖務省設置、北海道・台湾を統轄
4		27 小樽大火、786戸焼失 .. 札幌鉱山監督署、再設置
5		14 北海道鉄道敷設法公布 29 「殖民地撰定及び区画施設規定」制定
6	15 老若舞で津波に流され2名の死者を出す。 27 日進小学校桂恋分教場が開設される。	13 函館船渠(ドック)株式会社設立 15 明治三陸地震(M8.5)、津波で死者21,959人、住宅損壊10,390戸
8	1 釧路鉄道会社が、硫黄採掘中止に伴い運行を休止する。 .. 磯部定蔵が、幣舞町で清酒「旭鶴」の醸造を始める。	
9	.. 大洪水による別保原野の浸水が、5～6尺にも及ぶ。 .. 別保の山県礦で運炭軌道が敷設され、採炭を再開する。 	26 第一国立銀行、普通銀行の(株)第一銀行として営業開始(この後、明治32年2月までに、122行が転換)
(この年)		(この年)
	.. 山県勇三郎が舌辛村オシヨナイ(大祥内)で石炭採掘を始める。	.. 官有鉄道上川線(空知太一旭川)着工 .. 赤痢全国で流行、死者22,356人、腸チフスでも死者9,174人

【別保抗口】




明治30年(1897)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
2	・ 第一銀行釧路支店が開設される。	
3	・ 阿寒村最初の入植者である安藤利右衛門が愛知県より舌辛原野に入植する。	29 貨幣法公布(10.1施行、金本位制成立)
4	6 武隈作平が率いる富山団体43戸288名が舌辛原野に入植する。 ・ 根室税務監理局管内税務署(後の釧路税務署)が設置される。  【昭和7年、幣舞町に新築された釧路税務署】	1 北海道国有未開地処分法施行 2 遠洋漁業奨励法公布
5		29 北海道区制、北海道1級・2級町村制公布
6	22 釧路税関出張所が函館税関釧路支署とされる。	・ 官設鉄道十勝線(旭川一帯広)着工
7	22 日進小学校の高等科生48名が、厚岸等に5泊6日の日程で初めての修学旅行へ出発する。	
8	23 札幌農学校本科生川上瀧彌が阿寒湖で採集した球状の藻類に、宮部金吾教授が「マリモ(毬藻)」と命名する。	
9		1 拓殖務省を廃し、内閣に台湾事務局設置
10	・ 北海道鉄道敷設費により、釧路鉄道会社が買収される。	27 高嶋村に庁立水産試験場設置
11	2 釧路郡役所が廃止され、釧路支庁が設置される(支庁長は畠山省三)。釧路郡の内5町2村は直轄とし、7戸町役場を管轄する。	2 郡区役所を廃し、全道に19支庁設置
12	・ 聞名寺の進藤龍玄が西幣舞に説教所を開く。(後の龍玄寺)	20 根室大火、662戸焼失
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別保川支流クッタクンベ川附近で露頭炭層が発見される。 ・ 北海道国有未開地処分法の施行により、釧路川・阿寒川沿いの各地に民間牧場が開設されていく。  【庶路村字大楽毛中戸川牧場】 この年、500町歩で牛馬140頭。作家中戸川吉二が少年時代を過ごす。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚岸港からの枕木等木材移出、31,183石 ・ 赤痢全国で流行、死者23,763人、天然痘でも死者12,276人 ・ 片山潜の『労働世界』(後に『社会主義』と改題)創刊等、労働運動が広がり始め、労働争議約100件発生



明治31年(1898)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>8 鳥取神社が道庁長官により、無格社に列せられる。</p>  <p>【大正時代の鳥取神社】</p> <p>13 日進小学校西幣舞分教場(後の寿小学校)が開設される。</p>	<p>1 徴兵令、全道に施行</p>
3	<p>8 聯隊区司令部が根室から移り、釧路聯隊区司令部が設置される。</p> <p>31 西端寺が米町の布教所を母体として建立される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私設消防組が公設消防組として認可され、翌月より洲崎町・米町・西幣舞の3部・組合員181名となる。 釧路女学校が函館の靖和女学校に統合され、閉校する。 	<p>1 根室銀行設立</p> <p>15 総選挙、自由98・進歩91・国協26</p>
5	<p>10 本行寺が寺号公称を許される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路一帯広間鉄道予定線の測量が釧路口より開始される。 	<p>22 『函館新聞』、『函館毎日新聞』と改題</p>
6	<p>17 安田善次郎がアトサヌプリの硫黄事業から撤退する。</p>	<p>30 「隈板内閣」成立(10月に分裂)</p>
7	<p>20 川上瀧彌が『植物学雑誌』第137号に、和名マリモ(毬藻)の発見と命名を発表する。</p>	
8		<p>10 総選挙、憲政260・国協20</p>
9		<p>6 全道が豪雨被害、石狩川流域を中心に死者248名、流出・倒壊家屋3,500戸余</p>
10		<p>1 滝川で鉄工組合第29支部結成</p>
11	<p>3 日進小学校が現在地に新築移転する。</p> <p>7 舌辛村外3ヶ村戸長役場が舌辛15線35番地に移転する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本郵船が、函館—釧路間の命令航路を開設する。 	<p>1 北海道庁鉄道部を廃し、北海道鉄道部(通信省所管)設置</p>
12	<p>23 西幣舞分教場が寿小現在地に新築移転する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本銀行が根室銀行へ業務委託し、釧路派出所を閉鎖する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全道漁業組合大会、函館で開催
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> 現・米町4丁目が埋め立てられ、遊廓区域とされる。 廣井勇博士が、道庁の命により釧路築港の精密調査を実施する。 聯隊区司令官が会長の「釧路体育会」が剣道場を開設する。 函館商人・山田啓介が別保・舌辛国有林から立木払下げを受け、枕木7千挺を生産する。 直別原野区画地への入植許可を39戸が受けて入地が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄工組合の全国各支部に共働店(生活協同組合)設立




明治32年(1899)

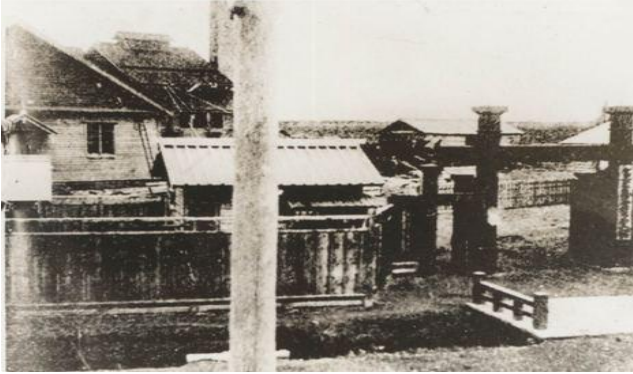

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>●● 根室銀行釧路出張所が開設される。(7月に支店へ昇格し、大正12年11月に安田銀行釧路支店となる。)</p>  <p>【根室銀行釧路支店】</p>	
2		<p>7 中学校令改正公布、実業学校令公布</p> <p>8 高等女学校令公布</p>
3		2 北海道旧土人保護法公布
4	●● 舌辛外3ヶ村戸長役場が戸数割で村費を賦課すると決める。	
6		15 視学官・府県視学等の制度を定める勅令
7	<p>13 釧路港が普通貿易港に指定され、翌月4日に開港する。</p>  <p>【当時の釧路港全景】</p> <p>●● 真宗大谷派説教所(後の仏海寺)が舌辛に開設される。</p>	<p>13 小樽・釧路・室蘭を開港するとの勅令</p> <p>13 屯田兵の配置計画完了</p> <p>26 札幌電話交換局設置(8.1.小樽、10.10.函館、各交換局設置、3局共翌年業務開始)</p>
8	<p>14 西端寺が寺号公称を許される。</p>  <p>【真言宗西端寺】</p> <p>20 湯波内の本願寺派説教所で寺子屋が開かれる。</p>	<p>8 全道に暴風雨(～12日)、各地で出水し、死者27人・浸水家屋5,744戸</p> <p>18 北海道区制改正公布</p>
9	28 鳥取神社が鳥取村144番地に社殿を造営し、移転する。	15 函館大火、2,494戸焼失
10	8 町田為蔵が来釧し、西幣舞で天理教の布教を始める。	1 札幌・函館・小樽に区制施行
(この年)		(この年)
	<p>●● 阿寒川第2分水工事(七番組～第1分水溝)が施工される。</p> <p>●● 越後漁民が、母漁村より川崎船を釧路に持込んで手繰網漁業を始める。これにより漁場が拡大され、漁獲量が増加し、定住する次第浜衆・藤塚浜衆が多くなる。</p>	<p>●● 不平等条約改正により、治外法権・関税自主権回復</p> <p>●● 赤痢全国で流行、死者23,763人、この年肺結核死者66,408人(総死亡の7.1%)</p>

明治33年(1900)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
3		10 治安警察法公布
4	1 釧路線敷設の為、北海道鉄道部釧路線工事区を設置する。 .. 真砂町の納谷留蔵が醤油・味噌醸造所を開業する。	
5	.. 官設鉄道釧路線(釧路一帯広間)が釧路より起工される。	16 札幌一小樽間に電話が開通
6	15 英貨物船がレール等を積載し、釧路港初の輸入船として入港する。	
7	1 釧路に町制(北海道1級町村制)が施行され、 初代町長に白石義郎が就任(9月に町会が 選出し、道庁長官が認可)する。  【初代の釧路町長 白石義郎】 啄木在職中の釧路新聞社長としても有名。 .. 釧路国第一公立病院が町立釧路病院と改称される。	1 道内12町4村に1級町村制施行
8	30 第1回釧路町会議員選挙が行なわれる。(定数16名)	20 小学校令改正公布
9	.. 北海道鉄道部釧路線工事区が同部釧路出張所と改称される。	15 立憲政友会結成(総裁・伊藤博文)
10	5 荻野丈吉が『釧路新聞』(第1次)を創刊する。 26 私立春採尋常小学校が、私立学校令による再認可を受ける。 18 陸軍省が、軍馬補充部釧路支部を白糠に設置と通達する。 .. 舌辛川に渡船場が設置される。(現・富士見橋より80m下流)	
12	18 『釧路新聞』(第1次)が筆禍を原因として58号で廃刊する。 .. 初代幣舞橋が道庁により架設される。(巾14尺、長さ113間)  【初代幣舞橋と西幣舞・頓化の家並み】 .. 真砂町の田中商店が『釧路市街全図』(1/5,000)を発行する。	18 憲政本党、総理に大隈重信
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> .. 釧路の人口が初めて1万人台になる。(2,129戸、10,309人) .. 鳥取村農会(釧路市農業協同組合の前身)が設立される。 .. 床丹炭砒が山県炭砒の一部として開坑する。(明治36年に閉鎖) .. 前田栄次郎が国有未開地142万坪の払下げを受け、トリトゥシに牧場を開設する。 .. 水井喜作が釧路初の人力車営業を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> .. 中国で義和団事件、日本軍主力の8カ国連合軍が北京攻撃

明治34年(1901)



月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>2 高野豊蔵が釧路新聞の施設を継承して『北東日報』を創刊する。</p>  <p>【北東日報の創刊号】 「創刊号」なのに「第59号」なのは、58号で廃刊した釧路新聞の続号を意味する。</p> <p>7 町役場が支庁内から洲崎町1丁目1番地に移転する。</p> <p>11 日進小学校桂恋分教場が桂恋尋常小学校として開校する。</p>	
2	<p>1 鳥取郵便局が鳥取村1番地に設置される。</p>  <p>【鳥取郵便局と大正13年の同局職員】 鳥取郵便局は大正元年に大楽毛に移転したが、同13年に鳥取の現在地に戻り、新局舎となった。</p> <p>16 穂禰平(オンネビラ)簡易教育所(後の山花小)が開設される。</p>	<p>12 夕張炭鉱でガス爆発、死亡19人・負傷8人</p>
4	<p>1 舌辛簡易教授所(後の阿寒小学校)が開設される。</p>  <p>【舌辛尋常小学校】 明治39年昇格、翌年新築された校舎</p> <p>26 日進小学校西幣舞分教場が第二日進小学校(後の寿小)となる。 (5月18日に開校式を行なう)</p> <p>30 湯波内(ユッパナイ)簡易教育所(後の桜田小)が開設される。</p>	<p>1 北海道会法、北海道地方費法施行</p> <p>1 旧土人児童教育規定(庁令)施行</p>

<p>5 15 白糠に陸軍軍馬補充部釧路支部が開設される。</p> <p>25 豊島庄作がトンケシ番屋と真砂町自宅間に私設電話を架設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年より天寧で建設の前田製紙工場が完成し、操業を開始する。  <p style="text-align: center;">【前田製紙釧路工場】</p> <p>翌年7月に操業を停止し、翌々年1月、富士製紙に買収されて北海紙料(株)として操業再開。明治39年に富士製紙(株)第4工場となるが、大正2年焼失する。</p>	<p>18 片山潜・幸徳秋水らが社会民主党結成 (20日、結社禁止)</p>
<p>6 1 尺別村字尺別1番地に教育所が開設される。</p>	
<p>7 20 釧路—白糠間に鉄道が開通(延長約28km)し、初代釧路駅が開業する。(中間に大楽毛・庶路駅が開業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路川左岸35,209坪の埋立工事が始まる。 	
<p>8 10 道会議員選釧路支庁で武富隆太郎・宮城野勇太郎が当選する。</p>	<p>10 第1回道会議員選挙、定数35人(有権者数 12,635人=人口の約1%)</p>
<p>9 30 北海道集治監釧路分監が廃止され、網走分監に継承される。</p>	<p>3 『北海タイムス』発刊</p>
<p>11 1 上大楽毛に簡易教育所(後の鶴丘小)が設置される。</p> <p>14 洲崎町・真砂町が大火(660戸焼失、死者3名)に見舞われる。火災類焼のため、『北東日報』が廃刊となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 尺別原野道路(現・道道尺別線・尺別停車場線)が開通する。 	
<p>(この年)</p>	<p>(この年)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 鳥取5番組から穂禰平経由舌辛までの12線道路が開削される。 茂尻矢の佐々木牧場が牛乳販売(配達)を始める。  <p style="text-align: center;">【佐々木牧場】</p> <p>現在の緑ヶ岡にあり、釧路で初めて牛乳販売を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉藤一郎が蒸気機関を導入して釧路木挽所を開設する。(明治39年に山県釧路製材所、同40年に釧路木材軸木(株)となる) 合資会社釧路倉庫が設立される(営業倉庫の初め) この頃、羽織・袴に「深ゴム」の皮靴姿が紳士礼装として流行する。 都地常次郎が阿寒で最初の駅通所を舌辛に開設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 田中正造、足尾鉍毒事件で衆議院議員を辞職(10.23)、天皇に直訴(12.10) 普通銀行数、ピークの1,867行 全道現住戸口、189,526戸・1,101,892人 (内、アイヌ民族は、4,158戸・17,688人)


明治35年(1902)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	・・ 大雪と寒波で放牧の馬 700頭 ・牛 60頭 が凍死する。	30 日英同盟調印
2	17 大楽毛―釧路間で吹雪の為汽車が立往生し、 5日 目に復旧する。	12 初の普選法案、衆議院に提出(2.25 否決)
3	26 郵便局と電信局が統合し、釧路郵便電信局となって入舟町(現・大町7丁目)に局舎を新築・移転する。	
5	・・ 釧路軍友会(在郷軍人会の前身)が結成される。	
6	・・ 町役場が洲崎町埋立地に新築・移転する。	1 函館―小樽間の鉄道工事開始
7	1 釧路・白糠水産組合が設立され、真砂町に事務所が建てられる。 28 白石義郎が『釧路新聞』(第2次)を創刊する。 	1 漁業法に基づく漁業組合規則・水産組合規則、施行 11 旭川―札幌―小樽間、市外通話開始
8	10 道内初の総選挙が札幌・小樽・函館の 3区 のみで実施される。 ・・ 日進高等科生徒と帰省中の釧路出身学生が野球の試合を行う。	10 総選挙、政友 190 ・憲政 95 ・帝國 17
10	4 音別川オコタヌンペ渡船場が道拓殖費により開設される。	
11	4 釧路ハリストス正教会の会堂が落成する。 	
	【釧路ハリストス正教会(描画)】	
12	・・ 草野製軸所(マッチ軸木製造)が茂尻矢に創立される。 ・・ 音別川鉄道橋梁(155m)が竣工する。	
(この年)		(この年)
・・ 福井・福島・岩手から舌辛村久著呂原野へ農民団体が入植する。 ・・ 尾崎酒造所が十勝・北見へ酒の販路を拡張する。 ・・ 高野豊蔵が紙・文具店を開く。(後に印刷業等も営む) ・・ 神社の奉納草相撲が盛んになる。	・・ 北海道国有未開地処分法による払下げ、延面積 19万 町歩 ・・ 三井物産などにより、清国向け鉄道枕木材の切り出しが盛況	


明治36年(1903)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路停車場で公衆電話の取扱いが始められる。 ・ 前田製紙工場が北海紙料(株)となって操業を再開する。 	
2	1 日進小と第二日進小が、第一・第二尋常高等小学校と改称する。	
3	1 官設鉄道釧路線の白糠―音別間が開通し、音別駅が開業する。	1 総選挙、政友175・憲政85・帝國17
4	1 釧路郵便電信局を釧路郵便局と改称する。(業務は同前) 18 天理教の神様奉祀場所(後の茂尻矢分教会)が創立される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 尺別の教育所が、尺別簡易教育所として正式に認可される。 ・ 音別市街―上音別(二俣)間の殖民道路が敷設される。 	
5	16 尺別駅通所が廃され、音別橋上手に音別駅通所が開設される。 20 第三尋常小学校(後の東栄小)の開校式が行なわれる。	
	 <p>【昭和7年改築の第三尋常高等小学校】 明治41年3月8日、啄木は猛吹雪の為、ここで一夜を明かした。</p>	
6		30 3区以外の道内にも衆議選法施行を公布
8	31 第2回町会議員選挙で、定員半数改選(8名)・増員(4名)・補欠(2名)の計14名が選出される。	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路川左岸埋立工事が完成し、入舟町が新設される。 ・ 泰心寺が本行寺の天寧説教所として創建される。 	
10	10 真宗大谷派の尺別説教所(後の正楽寺)が創建される。	22 片山潜来道、各地で社会主義を教宣
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮本繁次郎ら12名が『平民新聞』読書会を結成する。 	15 平民社結成、週刊『平民新聞』創刊
12	25 官設鉄道釧路線の音別―浦幌間が開通する。 28 大降雪があり、釧路管内で約2,000頭の牛馬が斃死する。	
(この年)		(この年)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山県回漕部が釧路・厚岸―横浜間に雲海丸を就航させ、本州直航路を開く。 ・ 舌辛に兵頭炭山が開坑され、大楽毛迄の馬車軌道が敷設される。 <p>【舌辛村 兵頭炭山】 北大図書館蔵</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路―根室間、厚岸―標茶―網走間の鉄道施設が第2期計画線に編入 ・ 前年の凶作で東北地方飢饉
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3小学校の連合運動会が灯台下運動場で開催される。 ・ 浄土真宗本願寺派の説教所(現飛鶴山覚栄寺)が開設される。 	

明治37年(1904)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>29 柿田亨が博済病院を浦見町に設立し、落成式が行なわれる。</p>  <p>【博済病院】 昭和4年に移転・新築されたこの建物が、昭和21年から釧路赤十字病院となる。</p>	
2		<p>10 日露戦争勃発</p> <p>23 日韓議定書調印</p>
3	<p>1 釧路で初の衆議院議員選挙(第9回総選挙)が行われ、釧路・根室・河西・網走選挙区は柳田藤吉(根室)が当選する。</p>	<p>1 総選挙、政友133・憲政90・帝國19、道内は6選挙区各1名選出</p>
4		<p>・ 小学校国定教科書使用開始</p>
5	<p>・ 野沢定吉が飽別駅通所を開設する。</p>	<p>8 小樽区大火、2,481戸焼失</p>
6	<p>25 「釧路座」で活動写真の巡回興行が催される。</p>	<p>13 第1回北海道畜産共進会、札幌で開催</p>
7	<p>30 白石町長が辞職し、町会は大森長三郎を町長に選出する。(大森は赴任せず、9月22日に秋元幸太郎を改めて選出、第2代町長となる)</p> <p>・ 釧路米穀雑貨商組合が設立される。</p>	
8	<p>10 第2次道会議員選挙で、釧路支庁管内は白石義郎・山崎兵次郎が当選する。</p> <p>・ 第二十国立銀行釧路支店が開設される。(大正元年9月、第一銀行と合併し、第一銀行釧路支店となる)</p>	<p>10 第2期道会議員選挙</p> <p>22 第1次日韓協約調印</p> <p>・ 釧路線の浦幌一豊頃間、開通</p>
9		<p>9 屯田兵条例廃止</p> <p>・ 与謝野晶子、「君死に給ふこと勿れ」発表</p>
10		<p>15 函館一小樽間の鉄道が全通</p>
12	<p>20 舌辛郵便局(後の阿寒郵便局)が設置される。</p>	<p>15 釧路線の豊頃一利別間、開通</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 埋立工事などで町債が増え、財政が逼迫する。</p> <p>・ 臼井捨(後に第7代市長)が幣舞町に硝子器製造工場を開設する。</p> <p>・ 庶路と厚岸に実業補習学校が開校する。</p> <p>・ この頃、「提灯胴」という皮長靴が流行する。</p>	<p>・ 日露戦争による公共事業縮小・海運停滞・貿易不振等で不景気</p> <p>・ 道内の義務教育就学率、90%超す</p> <p>・ 鳥取県の奥田亀蔵、トロール漁業開始</p>





明治38年(1905)

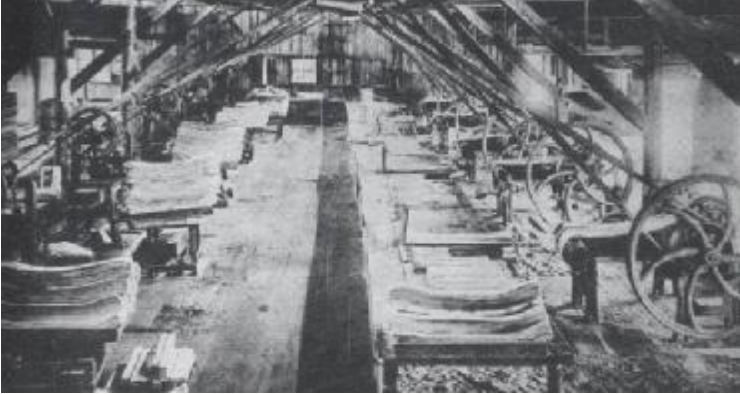
月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		<p>6 夕張炭鉱第2斜坑でガス爆発、36人死亡</p> <p>22 ペテルブルクで「血の日曜日」事件</p> <p>・十勝線の狩勝トンネル(915m)竣工</p>
2	<p>・十勝国大津の三上回漕店(後の三ツ輪運輸)が釧路に移転する。</p> <p>・米倉直七が乗合馬車の営業を始める。</p>	<p>8 道庁、輸入牝牛補助規定公布</p> <p>16 郵便貯金法公布</p>
3	<p>27 直別原野道路(東3線0号—同6号間)が完成する。</p>	<p>8 鉱業条例を廃し鉱業法公布</p> <p>29 鉄道建設・営業業務、道庁から通信省へ</p>
5		<p>27 日本海海戦(~28)</p>
7	<p>8 天理教布教所が西幣舞に設置される。(42年西幣舞分教会となる)</p> <p>・釧路町会が釧路中学校の設置を初めて決議し、道庁に請願する。</p>	
9	<p>1 根室地方裁判所釧路支部が設置される。</p> <p>・西村周右衛門がサメ延縄漁により釧路沖で初めてマグロを捕獲し、釧路白糠水産組合から奨励金を受ける。</p>	<p>5 日露講和(ポーツマス)条約調印、日比谷焼討ち事件等各地で暴動、6日に戒厳令</p>
10	<p>21 官設鉄道の利別一帯広間が営業開始し、釧路一帯広間の鉄道が全線開通する。(釧一帯間所要時間5時間22分)</p>	
11	<p>18 中学校設立運動委員会が、敷地・建設費全部地元負担の道庁方針を拒絶と新聞発表する。</p>	<p>17 第2次日韓協約調印、韓国各地反日暴動</p>
12	<p>24 聖公会礼拝堂で、釧路初の西洋音楽会開催される。</p>	
(この年)		(この年)
<p>・春採の安田炭山で第一堅坑(現・春採3丁目)の開削を始める。この頃、同山の「友子」制度が発足する。</p>  <p>【春採安田炭山第一堅坑之一部】</p> <p>・釧路線の順次開通により、沿線の河川流域で立木払下げによる木材造成が盛んになる。</p> <p>・釧路港から初めての直輸出で枕木材が上海へ積み出される。</p> <p>・『釧路新聞』紙上で、連載小説「恋塚」を巡る論争や新派・旧派の俳句論争が行なわれる。</p>		<p>・道庁、中等教育機関拡充7ヶ年計画樹立</p> <p>・根室でカニ缶詰製造開始</p> <p>・東北地方、大凶作</p>

明治39年(1906)


月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	・ 真砂町の白陽堂が「釧路風景絵はがき」(12枚組)を発行する。	
2		24 日本社会党第1回大会開催
3	20 新派俳句の「鈴蘭(れいらん)吟社」が発足する。 ・ 釧路魚商組合が設立される。	20 上野の帝国図書館竣工、開館式 31 鉄道国有法公布
4	4 私立春採尋常小学校が廃校され、町立の第三尋常小学校附属春採特別教育所となって、開校式が行なわれる。 9 釧路産牛馬組合(後の釧路畜産組合)が設立される。 ・ 直別原野に真宗大谷派東本願寺系説教所が開設される。	
5	13 日本基督教団釧路教会による定期礼拝などの布教活動が始まる。 15 福島県太田神社から分霊した小祠が建立される。(後の音別神社) 25 音別簡易教育所(後の二俣小学校)が開設される。 ・ 龍玄寺の寺号公称が許される。	1 北海道銀行設立
6	20 池田栄太郎が初めて釧路沖合でのマグロ流網漁を行なう。 ・ 前田正名が阿寒湖畔山林5千 ^石 の払下げを受け、開発を始める。 ・ 富士製紙が北海紙料会社を買収、富士製紙(株)第4工場と改称して、工場増設等を行なう。 ・ 笠井病院が洲崎町に開業する。	1 太平洋の海底電信線完成、日米間開通
8	30 第3回釧路町会議員選挙(改選8・増員4・補欠4)が実施される。 ・ 富士製紙が、明治43年までの年期契約により、阿寒国有林23万石余の払下げを受ける。 ・ 釧路炭礦(株)が設立され、舌辛のオトンベツ沢で採炭を開始する。	
9	28 西島勝(敗袴)が『北東時報』を創刊する。(翌年9月に日刊となり、明治41年に『北東新報』と改題)	
10	3 丸三越後屋呉服店(両角榮治)が真砂町で開業する。 ・ 丸と北村呉服店(北村藤吉)が西幣舞で開業する。 ・ 釧路陸送業組合(馬車運送)が設立される。	1 北海道炭礦鉄道(株)、北海道炭礦汽船(株)と改称 9 札幌商業会議所設立
11		26 南満州鉄道(株)設立(翌年4月開業)
12	・ 大坂炭山鉱業が別保クタクンベ川付近に別保一坑を開く。	
(この年)		(この年)
	・ 釧路国6郡全体の実測が完了する。(面積約40万町歩、全樹木量96,845千石と測定される) ・ 移住民取扱員事務所が、釧路等道内4港と道外3港に設置される。 ・ 山県勇三郎が昆布森炭砒を買収する。 ・ 佐々木与兵衛が、釧路で初めて自転車に乗る。 ・ 「ザクロ会」の前身「文芸研究会」が発足する。 ・ ゲロリ(下駄スケート)が流行する。	・ 馬匹改良30ヶ年計画実施 ・ 川田男爵、馬鈴薯の輸入新種を七飯村で実験栽培 ・ 丙午の迷信で出生数12%減

明治40年(1907)

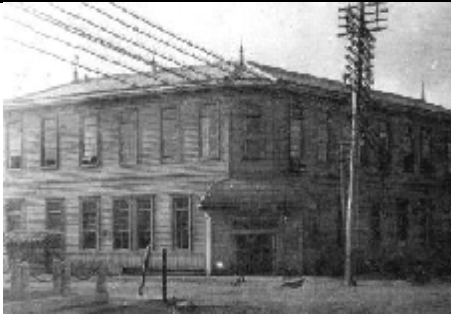
月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>6 釧路大工職組合が設立される。</p> <p>・ 釧勝木材軸木(株)が創立される。(後の釧勝興業釧路製材所)</p>	
2	<p>9 春採特別教育所校舎を解体、移転・改築して官立の春採尋常小学校となり、永久保秀二郎が授業を再開する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【ルーシー・ペイン】 春採土人学校を創設した。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【永久保秀二郎】 『永久保秀二郎日誌』は市指定文化財</p> </div> </div> <p>・ 合資会社三ツ輪印釧路水産製造所が創立される。</p>	<p>4 足尾銅山で坑夫暴動、軍が鎮圧</p> <p>25 河東碧梧桐来道、各地で新派俳句指導</p>
3	<p>6 釧路築港費が貴族院では否決される。</p> <p>14 新派俳句の「キャベツ会」が発足する。</p>	<p>21 小学校令改正(義務教育6年に延長)</p>
4	<p>6 根室に滞在中の河東碧梧桐が来釧し、これを機に新派俳句の「幣舞(へいぶ)会」が誕生する。</p> <p>15 上音別神社(後に二俣神社と改称)が建立される。</p> <p>・ 平岩初太郎が造船所を創業し、川崎船の建造を始める。</p>	<p>1 札幌に北海道帝国鉄道管理局と鉄道庁北海道建設事務所設置</p> <p>1 樺太庁、大泊(コルサコフ)に開庁</p>
5	<p>11 舌辛村立徹別教育所(後の中徹別小学校)が開設される。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【舌辛尋常小学校附属下徹別特別教授場】 徹別教育所は火事で焼失し、明治43年4月に下徹別特別教授場として再建され、大正10年6月に徹別中央尋常小学校となった。</p> </div> <p>・ 4組合(米穀雑貨・物産・雑穀肥料・漁業)連合運動会が茂尻矢の公園予定地で開催される。</p>	<p>5 石川啄木、2度目の渡道・在函</p> <div style="text-align: center;">  <p>【釧路川河畔の啄木像】 9月に札幌・小樽へ移り、翌年1月に来釧する。</p> </div>
6	<p>1 第一尋常高等小学校内で、夜学会の授業が始められる。</p> <p>・ 鉄道開通5周年記念釧路鉄道運動会が、駅前広場で開かれる。</p> <p>・ 鳥取村3校(鳥取第一・第二・穂禰平の各尋常小学校)連合運動会が開かれる。</p>	<p>4 別子銅山で坑夫暴動、軍が鎮圧</p> <p>22 東北帝国大学新設、札幌農学校は同大農科大学と改称</p>
7	<p>1 音別巡査駐在所が開設される。</p> <p>27 港内で石炭荷役中の竹之浦丸が転覆し、遭難者を出す。</p> <p>・ 池田栄太郎らの38艘が釧路沖でマグロ流網漁を行なう。</p>	<p>20 福岡県豊国炭砒ガス爆発、死者365人</p> <p>24 第3次日韓協約調印</p>

8	<p>10 道会議員選挙で釧路支庁管内から白石義郎・木下成太郎が選出される。</p> <p>23 武富善吉が千葉県の津田沼商業銀行を買収し、釧路銀行を設立する。(大正3年6月に経営破綻し、閉鎖する)</p> <ul style="list-style-type: none"> 山田慎がアトサヌプリで硫黄の採掘を再開する。 	<p>10 第3期道会議員選挙</p> <p>25 函館区大火、12,390戸焼失</p>
9	<p>8 狩勝峠開通により、旭川—釧路間が釧路線と改称され、旭川・札幌経由で函館までが全通する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釧路で初めてカトリック神父のミサが行われる。 	
10	<p>25 釧路線の直別駅が開業する。</p> <p>28 軍馬補充部釧路支部音別派出所が設置される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専売局函館収納所釧路出張所が開設される。 茂尻矢に釧路製材造船合資会社が設立される。 牧諭輔が音別市街で初の医院を開業する。 	<p>15 『小樽日報』創刊(石川啄木と野口雨情、記者として参画)</p>
11	<p>3 (株)水印釧路魚菜市场が西幣舞に卸売市場を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 草野製軸所が大日本燐寸軸木(株)の系列企業となる。  <p style="text-align: center;">【草野製軸所の工場内部】 大正元年に茅野製軸所となり、昭和初期まで操業した。</p>	<p>1 北炭と英国兵器会社の共同出資で、室蘭に(株)日本製鋼所設立</p>
(この年)		(この年)
<ul style="list-style-type: none"> 道庁技師の関屋忠正が、貴族院の釧路築港費は再調査が必要との議決を受けて現地精密調査の上、築港計画案を完成させる。 岡田八十次が桂恋炭鉱を開坑する。(出水で明治42年に休山) 八戸からの漁船団と釧路の一部漁業者によるニシン旋網漁が釧路漁業者の建網曳網漁を圧倒し、支庁の漁業権認可を巡って「釧路旋網騒擾」が始まる。 日本郵船が、釧路—本州間の補助航路を開設する。 釧正館の渡辺源六が駅弁を始める。 日本基督教団釧路伝道教会が設立される。(信徒代表坂本弥太郎) 野中賢三の小説「朝」が、『文章世界』に載って好評を博す。 舌辛炭山が釧路炭礦(株)から沢口炭礦に引き継がれる。 徳島団体が飽別に入植する。 		<ul style="list-style-type: none"> 道内に狂犬病流行、撲殺狂犬13,442頭 函館大火により、小樽の人口が函館を上回る(小樽区90,370人・函館区88,038人・札幌区66,193人)



明治41年(1908)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>21 石川啄木(当時23歳)が釧路新聞記者として小樽から来釧する。</p>  <p>【釧路新聞社前】 正面玄関入口左側柱の手前、最後列の中折帽子が石川啄木</p>	<p>17 新夕張炭砦でガス爆発、死亡91名、負傷21名</p>
2	<p>・ 釧勝興業(株)が設立され、山県勇三郎の事業を引継ぐ。</p>	
3	<p>8 大風雪が襲い、雪崩で家屋が倒壊し、釧路で19名、昆布森で18名の圧死者を出す。</p>	<p>7 国有鉄道青函連絡船、営業開始</p> <p>23 青森-室蘭定期船陸奥丸沈没、死者239人</p>
4	<p>1 尺別簡易教育所が音別尋常小学校と尺別教育所に分離される。</p> <p>1 白糠外6ヶ村戸長役場が白糠外2ヶ村(庶路・尺別)戸長役場となる。</p> <p>5 石川啄木が函館行の酒田川丸で離釧する。(76日間在釧)</p> <p>6 直別特別教授所が開設される。(44年11月に直別教育所と改称)</p> <p>7 釧路郡漁業組合が設立される。(武富善吉が初代組合長)</p> <p>21 尺別村音別市街地に音別郵便局が開設される。</p> <p>・ 関屋忠正による道庁の釧路港修築計画案が政府に提出される。</p>	<p>15 北海道国有未開地処分法改正(大地積処分を売払制等)公布</p> <p>28 初のブラジル移民783人出国</p>
5	<p>1 音別第二教育所(後の音別第二小)が開設される。</p> <p>15 衆議選の釧路・根室・河西・網走選挙区で、白石義郎が当選する。</p> <p>18 釧路教育会が発足する。</p> <p>21 徹別特別教育所(後の上徹別小)が設置される。</p> <p>29 道庁林務課釧路派出所が廃止され、釧路営林区署が開庁する。</p>	<p>15 総選挙、政友187・憲政70・大同29</p> <p>・ 道庁、各林務派出所廃止、5営林区・14分署・150保護区設置</p> <p>・ 王子製紙苫小牧工場建設着工</p>
6	<p>25 白石義郎が衆議院議員当選により、道会議員を辞職する。(8月8日の補欠選挙で秋元幸太郎が当選する)</p>	
7	<p>19 秋元幸太郎が『釧路日報』を創刊する。</p>	
8	<p>27 浦見町で金光教の大神が奉斎され、布教が始められる。</p> <p>・ 山浦政吉が阿寒湖畔で旅館の営業を開始する。</p>	
11		<p>19 札幌水力電気(株)設立(後・北海水力電気)</p>
12	<p>23 河西支庁長の上野直温が第3代町長に選出される。</p> <p>・ 春鳥炭山鉱業所が安田商事(合)釧路支店安田鉱業所となる。</p>	<p>25 軍馬補充部川上支部、熊牛村に設置</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 別保山県炭砦が釧勝興業(株)別保砦となる。</p> <p>・ 釧路商店及び有志大運動会が灯台下運動場で開催される。</p> <p>・ 句会「北鷗吟社」が発足する。</p> <p>・ 日本基督教団釧路教会堂が新築落成する。</p>	<p>・ 輸入鋼製汽船でのトロール漁業開始</p> <p>・ デフレ進行、戦争景気終わり不況</p>



明治42年(1909)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 釧路で最初の電話交換業務が入舟町(現大町4丁目1)に移転・新築された郵便局で開始される。</p> <p>【釧路郵便局新局舎】 電話交換局開設運動を牽引した日景安太郎が敷地を寄付した。</p>  <p>.. 釧路肉類販売業組合が設立される。</p>	<p>11 北海道庁火災、内部全焼</p> <p>.. 函館に道内初の常設映画館(錦輝館)設立</p>
3	<p>13 釧路港修築案が帝国議会議会を通過する。</p> <p>.. 釧路豆腐商組合と釧路木挽職組合が設立される。</p>	
4	<p>1 釧路築港事務所が町役場内に開設され(11月、知人町に庁舎落成)、関谷忠正が初代所長となる。</p> <p>1 音別簡易教育所が「音別教育所」に改称する。(後の二俣小)</p> <p>7 私立実用裁縫伝習所が開校する。(後の釧路女子技芸学校)</p>	<p>6 汽船トロール漁業取締規則制定、北海道漁業禁止区域を告示</p> <p>25 小樽区大火、700戸焼失</p>
5	<p>.. 大湖会員(滋賀県人会)が春採湖畔に釧路港修築碑を建立する。</p> <p>.. 長谷川製材所が西幣舞に創立される。</p>	<p>1 根室毎日新聞と根室新報が合併、『根室新聞』創刊</p>
6	<p>.. 第2回釧路町各会社・銀行連合運動会が開催される。</p> <p>.. 古川忠一郎編『釧路築港史・全』が出版される。</p>	
7	<p>.. 釧路の電話番号簿が初めて発行される。(加入272台)</p> <p>.. 釧路の鯨旋網漁船が白糖沖の漁場を侵犯し、境界紛争が起こる。</p>	<p>31 大阪市北区大火、11,365戸焼失</p>
8	<p>30 第4回町会議員選挙(改選9・補欠3)が実施される。(～31日)</p>	
9	<p>19 「子規忌晩餐会」で「阿寒太会」が創立される。</p>	
10	<p>10 釧勝興業(株)釧路製材所火力発電部からの送電により、市街地に初めて電灯が点く。</p> <p>15 第1回釧路畜産馬匹共進会が開催される。(～19日)</p>	<p>19 第1期北海道拓殖計画、閣議決定</p> <p>26 安重根、ハルピンで伊藤博文を射殺</p>
11	<p>3 二代目幣舞橋の開通式が行なわれる。</p> <p>.. 静岡団体が知茶布に入植する。</p>	
12	<p>15 真宗本願寺派の舌辛説教所(後の覚栄寺)が公称認可される。</p> <p>23 上野町長の辞職願を町会が承認する。</p> <p>.. 岩中鐘詰製造所が蟹・鱒等の缶詰製造を始める。</p> <p>.. 三井物産が5ヶ年の年の特売許可で舌辛国有林より大量の木材切り出しを始める。(同年11月白糖10ヶ年、翌年7月浦幌5ヶ年)</p>	
(この年)		(この年)
	<p>.. 鳥取村自治研究会が組織され、「村是調査」に着手する。</p> <p>.. 春採炭山の大安坑より堅入りで小盛坑が開かれる。(大正9年閉坑)</p> <p>.. 釧美線の敷設陳情運動が始まる。</p>	<p>.. 生糸輸出量、初めて中国を抜き世界一</p>

明治43年(1910)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1	<p>1 釧路測候所が熊牛村から釧路町幣舞に移設される。</p>  <p>【釧路測候所】 釧路に移転後は、平成12年まで幣舞の気象台として親しまれた。</p>	<p>18 北海道鉄道管理局、釧路・函館等10駅に移住民取扱主任を配置</p>
2	<p>・ 釧路織物商組合が設立される。</p>	
4	<p>1 舌辛尋常小付属布伏内特別教授場(後の布伏内小)が開設される。 3 舌辛尋常小付属下徹別特別教授場(後の中徹別小)が開設される。</p>	<p>1 第1期北海道拓殖事業15年計画実施 21 漁業法改正(漁業組合制度拡充)公布</p>
5	<p>1 函館—釧路間に上下各1回の直通旅客列車の運行が開始される。</p>  <p>【明治43年頃の釧路駅前通り】</p>	<p>9 石狩川治水工事着工 25 大逆事件の検挙開始(6.1.幸徳秋水逮捕)</p>
6	<p>25 町会議員補欠(6名)選挙が実施される。</p>	<p>1 根室港開港、水産物に限り輸出許可</p>
7	<p>23 秋元幸太郎が第4代町長に選ばれる。(翌年5月の「情意投合」迄町会議員20名中11名が欠員になる等、紛糾する)</p>	<p>14 文部省『尋常小学読本唱歌』発刊</p>
8	<p>10 道議選釧路支庁管内で、佐藤国司・木下成太郎が当選する。</p>	<p>10 第4期道会議員選挙 22 韓国併合の日韓条約調印</p>
9	<p>・ 釧勝興業の電力供給事業を引継ぎ、釧路電灯(株)が設立される。 ・ 国の直轄工事を行なう釧路土木派出所が設置される。 ・ 共栄挽材所が設立され、下駄・棒板等の生産を始める。</p>	<p>1 王子製紙苫小牧工場、操業開始</p>
11	<p>1 北海道水産試験場釧路駐在所が開設される。 29 徹別特別教育所(後の上徹別小)が焼失する。</p>	
12		<p>1 石川啄木『一握の砂』発刊</p>
(この年)		(この年)
	<p>・ 『鳥取村村是』が策定される。 ・ (株)共立魚菜市場を、土屋金次郎らが入舟町に開設する。 ・ ニシン旋網杵船曳航の為、蒸気船が使用され始める。 ・ 三井物産釧路出張所が開設され、坂本弥太郎が独立して坂本商會を設立、舌辛などからの木材輸出を拡大する。 ・ 山部造船所が入舟町に開設され、磯舟建造を始める。 ・ 田村耕が尺別に石炭の鉱業権を設定し、試掘権を得る。</p>	<p>・ 北海道線で米製ラッセル車初走行 ・ 農商務省、汽船手繰網の試験操業</p>

明治44年(1911)

月	釧路市史関係事項	関係する日本及び北海道の事項
1		18 大逆事件、24名に死刑判決
3	31 音別と穂禰平の駅通所が廃止される。	11 普選法、衆議院初可決(15日貴族院否決)
4	.. 大楽毛に国有種牡馬派遣種付所が設置される。	
5	3 阿寒郡戸長役場が全焼する。 30 町会議員補欠(11名)選挙が実施される。	16 小樽区大火、1,251戸焼失 17 稚内町、人家724戸・公共施設等殆ど焼失
6	9 釧路町3小学校連合運動会が知人の岬頭(灯台下)グラウンドで開催され、全町民の半数約1万2千人の観客が集まる。 11 第1回官民連合運動会が岬頭グラウンドで開催される。 	【第1回官民連合運動会】 釧路新聞と釧路日報が主催して開かれたが、第2回は大正5年となり、昭和5年の第15回から「釧路市民大運動会」となって、釧路市民の最大行事として楽しまれた。
7	1 旭川—函館間が急行化され、釧路—函館間の所要時間が25時間45分の直通列車となる。 23 定光寺境内に忠魂碑が建立される。	
8	12 潮音寺(桂恋)が定光寺説教所(布教仮事務所)として創建される。 30 前年焼失の徹別特別教育所(後の上徹別小)が移転・新築される。 .. 釧路築港に伴う阿寒川切替工事の測量が開始される。	20 皇太子、函館着(9月12日迄道内巡啓) 21 警視庁、特別高等課設置
9	2 皇太子(後の大正天皇)が行啓する。(～4日) 12 公会堂の落成式が行なわれる。  【釧路公会堂】 皇太子殿下の御宿所とする為、前年5月着工して釧路の大工全員で完成させた。 17 剣道場の「練武館」が西幣舞に設置され、開会式が行われる。	1 平塚らいてう等の『青鞥』創刊
10	1 釧路産牛馬組合が大楽毛家畜市場を開設する。(20～23日、大楽毛停車場前で初の馬市開催) 3 秋元町長が5月の「情意投合」の約束に従い辞任する。 24 音別停車場前で、釧路産牛馬組合主催の馬市が開催される。 .. 舌辛—布伏内間道路(約8km)が殖民道路に認定される。	10 辛亥革命始まる
11	19 武富隆太郎が第5代町長に選ばれる。	
(この年)		(この年)
	.. 釧路左官組合が発足する。	.. 全国の義務教育就学率98%・通学率90%